

88	建設局	地域特性に応じたヒートアイランド対策としての舗装
事業概要	<p>大都市特有の課題であるヒートアイランド対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。</p> <p>さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成19年度に試験施工し、平成20年度から本格実施している。</p>	
これまでの経過	<p>遮熱性舗装 夏場に一般の舗装と比較して8程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた(平成19年度共同実験〔新大橋通りでの試験舗装〕による調査結果)。 平成20年度は、晴海通り(千代田区有楽町一丁目地内)外8箇所、延長約3kmを実施した。</p> <p>保水性舗装 真夏の降雨後に一般の舗装と比較して10程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた(平成14年度調査結果)。 平成20年度は、江戸通り(中央区日本橋本石町四丁目～日本橋室町三丁目地内)外3箇所、延長約1kmを実施した。 保水性舗装のこれまでの施工実績は、延長約11kmである。</p>	
現在の進行状況	<p>遮熱性舗装 平成21年度は、日比谷通り(千代田区有楽町一丁目地内)外27箇所、延長約8kmを実施する。</p> <p>保水性舗装 平成21年度は、主302 新宿両国線(新宿区新宿七丁目地内)外5箇所、延長約2kmを実施する。</p>	
今後の見通し	<p>今後も、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、遮熱性舗装、保水性舗装を積極的に実施していく。</p>	
問い合わせ先	建設局 道路管理部 保全課	電話 03-5320-5296